

篠川事務所の”ホット”通信

2019年12月号

篠川徹太郎税理士事務所

〒226-0003

神奈川県横浜市緑区鴨居 3-1-9-201

電話：045-530-3727 F A X：045-530-3728

<http://shinokawa-office.com>

mail@shinokawa-office.com



ホットな話題をほっとするような分かりやすさでお伝えする“ホット”通信・・・Vol. 64 をお届けします。

バブルの頃の3高（高学歴・高収入・高身長）が今や4低（低姿勢・低リスク・低燃費・低依存）へと、もてる男の条件がかくも変わってしまいました。とほほ、昭和は遠くなりにはけりですね。

【個人住宅で「民泊」を行った場合の税務申告】

日本を訪れる外国人観光客の数は年々増加の一途をたどっています。そのためホテルの客室数が足りず、一般の住宅（戸建やマンションなど）の全部や一部を活用して宿泊サービスを行う「民泊」が急増しています。

2018年6月に住宅宿泊事業法が施行されてから民泊は「旅館業法の許可を得る」「国家戦略特別区域法の認定を得る」「住宅宿泊事業法の届出をする」のいずれかの方法で行います。中でも個人の住宅を利用して民泊を行う場合は、住宅宿泊事業法の届出をして行いますが当然、その際に発生する宿泊料などの収入は税務申告が必要です。

これは原則として「雑所得」に区分されますが、民泊が事業的規模で行われていることが客観的に明らかであれば「事業所得」として申告することになります。また不動産賃貸業を営んでいる人が、空き物件を一時的に民泊として貸した場合「不動産所得」に含めて申告しても差し支えありません。いずれにしてもきちんと税務申告をすることは大切です。その際に収入から差し引くことができる経費としては仲介事業者への手数料、管理費、広告宣伝費、通信費、家屋の減価償却費などがあります。水道光熱費や固定資産税など、費用が業務用と生活用の両方に含まれるものについては、例えば宿泊させた日数など合理的な方法によりあ部分して計算します。



【快適な睡眠に「うどん」！？】

奇抜な名前と形状の「睡眠用うどん」は最高の眠りを追求して開発された寝具です。

「タテ麺」と「ヨコ麺」を連結した構成で、掛け布団はもちろん抱き枕や足枕にもなり、常に快適な寝姿勢が作れます。温度調節は麺を広げたり閉じたりして行い、上に毛布を掛ければ真冬でもポカポカです。分割して洗濯できるので清潔を保てるうえ、見た目のシースルー感はインテリア性にも優れます。もちもちの麺に包まれる安心感がいざなう至福の眠り……。うどんが理想を実現です。



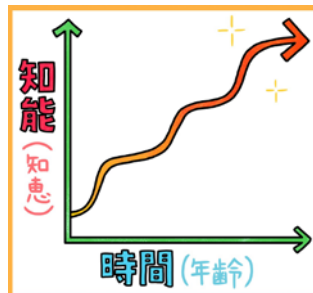
【今月の教えてキーワード：【信用スコア】】

個人が有する社会的な信用度を数値化したもの。年齢や学歴といった個人属性、資産やクレジットカードでの購買状況といった支払い能力、借り入れ状況や返済履歴、購買履歴といったデータなどをもとに算出される。普及が進む中国では、スコアが高いと貸付金利の優遇があったりお見合いでも有利になったりもする。日本でも参入する企業はあるが、スコアを不正に上げる詐欺サービスの登場や格付けの固定化といったリスクもある。

【今こそ脳に汗をかこう！】

人間の脳細胞の数は生後ピークにあとは徐々に減っていく。ひと昔前まではこういわれていましたが、近年の研究では人間の脳にある神経細胞は、日々増減を繰り返していることが分かってきたそうです。脳は非常に可塑性の高い器官で、私たちの脳は毎日、新しく起こる環境の変化に対応しています。例えば、仕事で新しいプロジェクトを達成したとします。その過程では、新しい仕事に意欲を持って取り組み、情報収集や調査によって知識をインプットして、蓄積してきた知識をアウトプットします。時にはチームの仲間と議論を交わし、自分の判断基準を見直したり新しい価値観に触れたりして刺激を受け、プロジェクトが完了すると達成感と共に満足感や充実感を得るでしょう。私たちの脳内では、こうした行動を通じて常に神経細胞が生まれたり、記憶の回路が新しく組み変わったりしているようです。少し専門的な話になりますが「クリスタルインテリジェンス」と呼ばれる脳の結晶性知能と「白質」と呼ばれる統括的知能は40歳ぐらいから伸びると考えられており、この2つが俗にいう本当の意味での知恵や頭の良さや知能の高さに関わるのではないかとされています。単純な記憶力は17~18歳をピークに年々低下していくものの、脳には逆に年齢を重ねることで成長する部分があるのです。チャレンジや失敗を恐れず一生懸命に知恵を絞って商売をしてきた人は、数字として表れない部分でも、しっかりと積み上げてきたものがあるのです。

AIやロボットの浸透は加速度を増していき、色々な局面で今までの常識が通用なくなっています。時代や環境のせいにしたくなることもありますが、そんなときは脳の可塑性を思い出してください。あなたが「ついていけないよ～」と弱音を吐きそうになっても、脳には変化に対応する性質があります。仕事を楽しみ、充実感を得ることで脳は成長するのです。変化を恐れず、新しい経験ができることに喜びを感じ、感謝と共にある商売をこれからも続けていきたいですね。



壁は自分自身だ

今を生きる！

先人の言葉

日本の芸術家である岡本太郎の言葉。目の前に壁が立ち、はだかだったとき、必ず乗り越えられれると思えば壁は低くなり、無理だとあきらめれば壁は大きくそびえ立つ。

【社員をサーフィンに行かせよう】

イヴオン・シュイナードという著名なクライマーがパタゴニアという世界的ブランドを育て上げてゆく、その歴史から理念まで縦横に語られています。確かに一風変わった企業ですが、もしかしたら未来の企業のカタチを先取りしているのかも？

